

競技運営上の確認

競技委員長

- 1 競技形式について
競技はトーナメント形式とし、3セットマッチとする。
- 2 チーム編成について
 - ① チームの構成は、監督・コーチ・マネージャー各1名と選手12名以内とし、競技場フロアに入れる者は、チーム構成員のみとする。
 - ② 監督、コーチ、マネージャーは左胸部、主将は胸番号下に規定のマークをつけること。ただし、監督は該当学校の教員、コーチは該当学校の教職員または学校長の承認を得た外部指導者、マネージャーは当該学校の生徒とする。なお、外部指導者は、当該校長が承認した者で、当該校にあって、継続的指導を行っている者とする。
- 3 試合進行について
 - ① 試合の順序はプログラム記載通りに行う。プログラムに記載された時刻は、サーブ許可の吹笛時刻とし、試合設定時刻の11分前からプロトコールに入る。ただし、1日目第1試合と2日目準決勝、決勝及び全国大会出場決定戦は4コートにアナウンスを入れる関係で、プロトコールを3分長く設定する。(14分前プロトコール)
 - ② 前の試合が長くなった場合は、前試合終了後5分間の合同練習を行った後にプロトコールに入る。
 - ③ 試合進行の状況により、第6試合のコートの変更をすることがある。第6試合のチームは、予定されているコートの第4試合終了後、大会本部に確認すること。
 - ④ 第2日目の決勝戦及び全国大会出場決定戦は、全ての試合開始をそろえて実施する。なお、準決勝の終了時刻が11:16を越えた場合、進行の遅いコートの試合終了30分後にプロトコールを開始する。
 - ⑤ 全国大会出場決定戦は、決勝戦と並行して行う。
- 4 エントリーの確認・変更用紙の提出について
代表者会議終了後、エントリー確認・変更用紙を競技委員長に提出すること。エントリーに変更のあるチームは変更を記入し、変更のないチームは「なし」と記入し提出する。また、プログラム記載上の誤りについてもあわせて提出する。エントリー変更は1回のみとし、エントリー変更提出後の変更はこれを認めない。
- 5 その他
 - ① 会場の空調が完備されているため、WTOは採用しない。
 - ② 各コート責任者もしくは審判員の指示があるまでは、コート(フェンス内)に入らない。(試合前のアップ時)
 - ③ 第1日目は、設定された時間までに前試合が終了している場合でも、練習はプロトコール前5分間の合同練習のみとし、内容はパス程度とする。指導者によるボール出しやネットをボールが越えるような練習は禁止する。
 - ④ 第2日目は合同練習をプロトコール前10分間とし、練習内容は制限しない。(指導者によるボール出し、両チームで協議の上、ネットを利用した練習も可能。)また、コート(フェンス内)への入場許可後合同練習開始までの時間は、ストレッチやランニング等のアップを許可する。
 - ⑤ フロアには、飲料水・救急用具以外の持ち込みを禁止する。(メガホン・マスケット・うちわ等の持ち込みを禁止する。)飲料水、救急用具等は、ベンチの椅子の下か後ろに置く。
 - ⑥ 試合中、チームのボールかごはフェンス外に移動させる。
 - ⑦ 部旗・応援幕等を掲げる場合は、コート表示、方角表示、非常灯にかからないように設置する。また、のぼりは観客席の最後列に設置する。観客席からのフラッシュ撮影は禁止する。応援席で椅子や手すり、欄干等をたたかない。
 - ⑧ 体育館の使用規定を厳守すること。

審判上の確認

審判委員長

- 1 本大会は、平成29年度（公財）日本バレーボール協会制定6人制競技規則及び競技要項、日本中体連バレーボール競技部の6人制ルールの取り扱いによる。
 - ① タイムアウトは、ベンチから立ち上がってコールしながらハンドシグナルを明確に示すこと。
 - ② セット間は、フリーゾーンでのボールの使用を認めるが、隣のコート邪魔にならないように注意し、パス程度とする。
 - ③ リベロの交代は、サイドライン上（6m範囲）で一旦止まって行うこと。
 - ④ コートエンド側の競技エリアは6.5mとし、フェンスで区切る。
- 2 本大会は、ワンボール・システムで試合を行うので、デッドになったボールは、速やかに次のサーバーに渡すこと。
- 3 本大会は、プロトコールシステムで行う。
 - ① 合同練習は、試合審判の指示に従ってプロトコール開始前に行う。
 - ② トスは、公式練習前に記録席前で行う。チームキャプテンはキャプテンマークのついたユニフォームを着用していること。
 - ③ トス終了後、監督及びチームキャプテンは記録用紙にサインをする。リベロ選手の登録は、2名まで認められ、試合ごとに変更することができる。
 - ④ 公式練習時間は、両チーム合同で行う場合は6分間とし、単独で行う場合は3分間ずつとする。また、公式練習はエントリーメンバーで行うこと。
 - ⑤ 公式練習後、両チームのチームキャプテンは他の選手と共にエンドラインに整列し、ネット越しに握手をして試合を開始する。
- 4 試合中のワイピングは、原則としてコートの中の選手が行う。モップの使用は審判の判断による。タイムアウト中とセット間はゲームに出ていない選手がモップを使用してワイピングを行うことができる。
- 5 スタッフの服装については、チームで統一されたものとする。（監督・コーチの服装《上衣》は襟付きのものとする。）
- 6 その他
 - ① 監督は、チームベンチの記録席に最も近い席に座る。
 - ② 監督は、試合中試合の妨害あるいは遅延をしない限り、自チームのベンチ前から、ウォーム・アップ・エリアまでのフリー・ゾーンの範囲内では、立ったままで、あるいは歩きながら指示を与えることができる。ただしラリー中はベンチに座る。
 - ③ プレーヤー及びベンチのマナーについては十分に留意し、スポーツマンとしてふさわしくない行為はしないこと。（相手に向かってのガッツポーズなど）
 - ④ 反則を指摘された選手は、挙手をするように指導すること。
 - ⑤ ボールデッドになったときの不必要なコート外への飛び出しは、遅延行為になる恐れがあるので行わないこと。
 - ⑥ 試合中、ボールの交換を要求する場合は、選手が審判に申し出ること。
 - ⑦ 選手のソックスについては、安全確保の為、くるぶしが隠れる長さのものとする。
 - ⑧ ゲーム前の円陣は、メンバーチェック前に8名以内で行うこととする。
 - ⑨ 試合終了後、両チームのキャプテンは記録用紙にサインし、監督は審判と握手を交わすことが望ましい。

会場及びその他の注意事項

総務委員長

- 1 チーム関係者の館内への入館時刻は、両日とも8時30分とする。
- 2 監督・コーチはIDカードを身につけること。
IDカードがない者はフロアに入ることはできない。
- 3 選手の競技場フロアへの入場は、フロア南東側の出入口からのみとする。フェンス外で待機し、コート責任者または審判員の指示でコートに入る。
フロア入口で下足とバレーボールシューズの履き替えを行う。その際、下足はボールバッグに入れるなどして、各チームでまとめて管理し、試合をするコートのフェンス外に置いておくこと。フロア入口に下足を置いておくことがないように。
- 4 荷物・靴・用具については、観覧席に整理しておくこと。
その際の貴重品の管理は、チームの責任で行う。
- 5 各チームののぼり等については、観戦の妨げになるような場所に立てることは禁止する。立てる場合は、観覧席最後列のみ認める。
観客席の割り振りはしていないので、通路より上の観客席を各校で融通し合って使用すること。ただし、ABコート側を女子の参加校。CDコート側を男子の参加校が使用すること。
通路より前の列は試合をしているチームの応援席とするので、荷物等は置かないこと。試合ごとに入れ替えをする。
- 6 体育館内の観覧席、通路などの施設やその他付属器具などへの破損・汚損・滅失については、現状復帰・修繕・損害賠償の責任を当事者が負う。
- 7 使用後の清掃・後始末については、チームの責任で行う。ごみは各自で責任をもって持ち帰る。館内のごみ箱は一切使用しない。
- 8 会場諸施設への無用な立ち入りは禁止する。
- 9 ゲーム中のフラッシュを使用した写真撮影を禁止する。
- 10 写真業者によるチーム写真の撮影は、2階エントランス付近（南ロビー）で行うこととする。